



教育関係者・事業者部門
《教育等関係者》

農林水産大臣賞

京都市立高倉小学校

(京都府) 活動期間 6年

地域と共に生きる力を育む食育カリキュラム「高倉スタンダード」の開発

健やかな「心と体を育む」

地域の教育資源や人材を活用しながら、全校で1～6年生の系統立てた食育カリキュラムを開発し、持続的に改善を図りながら、確実に子供たちに食に関する興味・関心を持ってもらい、実践的・体験的な活動を教育課程の中に位置付けています。本校の取組は全市的なモデルともなり、市内各校での食育カリキュラムのモデルとなっています。



地域の屋上農園での農育体験

「食べる」営みを慈しむ子供を育てたい

人の営みとしての「食べる」ということ、文化・健康・自然環境も含めて、食べることは生きる意欲につながることをしっかりと伝えていきたいと考えています。1年「食で人とつながろう」、2年「命を育てて食べよう」、3年「暮らしと食べ物をなごう」、4年「地域と食のつながり」、5年「京都の文化を知ろう」、6年「日本の伝統文化を受け継ごう」をテーマに学習を行っています。



魯山人に学ぶ
おもてなし
～盛り付け体験～



「本物体験」から学ぶ

地域の食に関する専門家（料理人、職人、商店等）をゲストティーチャーとして招き、だしについて学ぶ味覚の授業や魚料理の授業などの「本物体験」を取り入れることにより、子供たちの食に対する意識の高まりを感じています。また、就学前の子供への給食参観も行っており、幼児期からの一貫したカリキュラムも視野に入れています。



地元シェフによる
野菜の授業

地元の日本料理人に教わる
伝統食文化



時間をかけて学校・家庭・地域が一体となって作り上げてきた食育カリキュラム「高倉スタンダード」が認められ、大変嬉しく誇りに思います。これからもワンチームで食を通して健やかな心と体を育ててまいります。



京都市立高倉小学校 校長 岸田 蘭子
栄養教諭 江頭 香衣